ファイナルファンタジーIV

FINAL FANTASY IV

SUPER読本・上巻

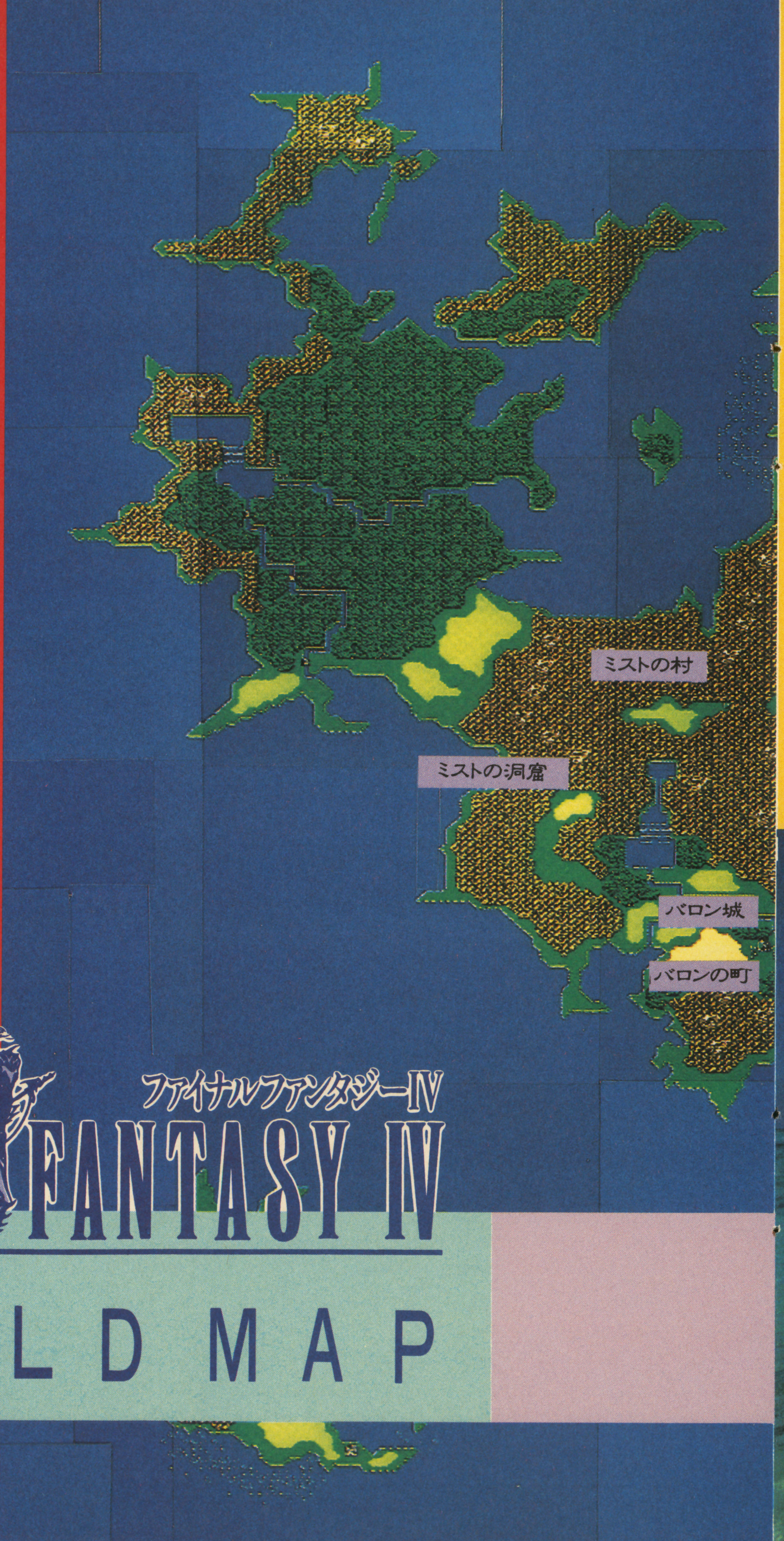
The スーパーファミコン
8月9日号特別付録

人々の夢であった
天駆ける船、飛空挺。
だがその飛空挺の機動力は
夢の実現ばかりか
欲望を満たす手段にも成り得た。
飛空挺団「赤い翼」により
最強の軍事国家となったバロン国。
なぜその巨大な力をもつバロンが
クリスタルを求めたのか……
そしてなぜ幾多の魔物が白日の元に
その姿を現したのか……

クリスタルはただ静かに
その光を讃(たた)えていた……

CONTENTS

4……………ワールドマップ
6……………………プロローグ
7……………………バロン城
8……………バロン城城下町
9…………………ミストの洞窟
10……………………ミストの村
11………オアシスの村カイポ
地下水脈………………………13
ダムシアン城…………………18
アントリオンの洞窟…………20
オアシスの町カイポ…………22
ホブス山………………………24
ファブール城…………………26
魔法リスト……………………28



ファイナルファンタジーIV

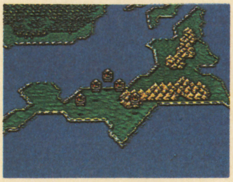
FINAL FANTASY IV

WORLD MAP

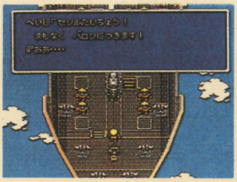
ホプスの山西口
ホプスの山東口
ダムシアン城
アントリオンの洞窟
ファブール城
地下の湖
地下に通じる道
地下水脈北口
地下水脈南口
オアシスの村カイポ

プロローグ

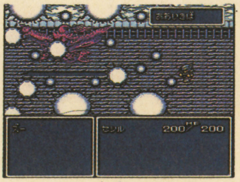
クリスタルを手に帰還したセシルを待つものは



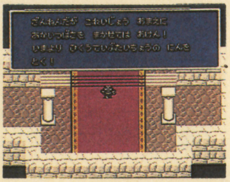
故郷バロンへ向かう飛空挺のなか



「赤い翼」は想いを馳せる……

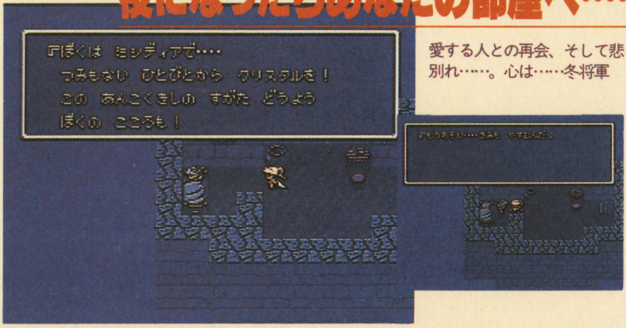


その矢先のアクシデント

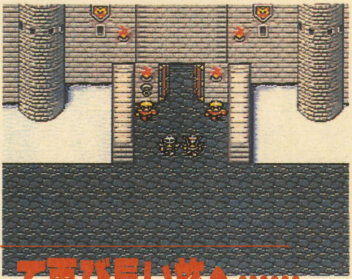


陰謀による裏切り

夜になったらあなたの部屋へ……



愛する人との再会、そして悲しい別れ……。心は……冬将軍

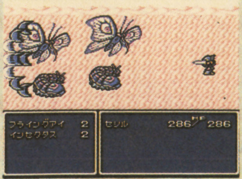


そして再び長い旅へ……

唯一の救いは親友の同行。ともに生きて再びこの門をくぐることは……できるだろうか……。

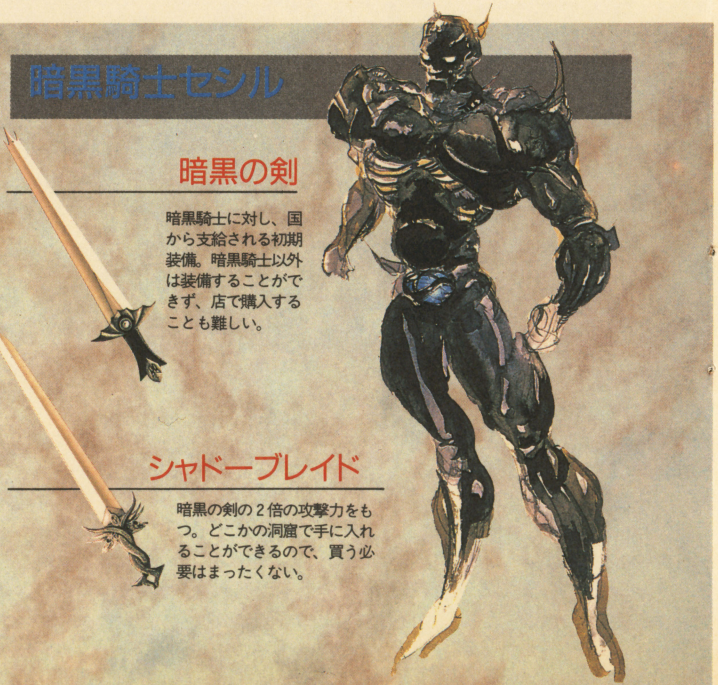
暗黒剣の訓練を受け、負の力を身につけた暗黒騎士。と同時に、バロン国飛空挺団の隊長でもあったが、近衛兵団長ベイガンの策略により失脚。

暗黒騎士であるがゆえ、暗黒系の装備品しか身につけることができない。自然と精神が邪悪な方向に傾きつつあり、セシルはそんな自分に焦りを感じ、悩んでいる……。



自分のHPと暗黒剣に宿る負の力を融合し、敵キャラ全体に攻撃可。

暗黒騎士セシル



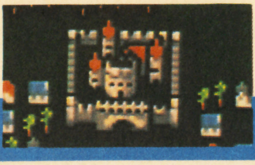
暗黒の剣

暗黒騎士に対し、国から支給される初期装備。暗黒騎士以外は装備することができず、店で購入することも難しい。

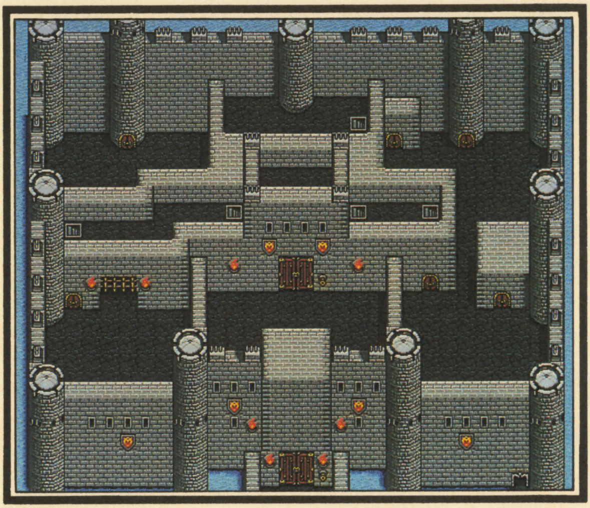
シャドーブレイド

暗黒の剣の２倍の攻撃力をもつ。どこかの洞窟で手に入れることができるので、買う必要はまったくない。

バロン城



眠れぬ夜は明けた。目指すは幻獣討伐!!



バロン城

バロン王が統べる軍事国家を支える城。世界最強の8つの軍団が設立されていて、その名を轟かせている。人工、領土に関しても、6つの国家のなかでは最も多く、広い。

旅立つ前に城内チェック

幻獣討伐に赴かんとするセシルとカイン。旅は長い。慌てて飛び出さず、まずは城内チェックから始めよう。城だけに大きいので、かなり調べ甲斐があるはず。

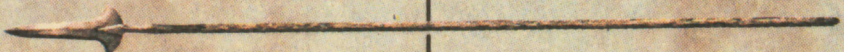
兵士たちからの情報収集はもちろん、宝箱を開けたり、ツボなどにも目を向けること。"怪しげなものは何でも調べる"のは、RPGの基本だからね。

歩きまわってみるとよくわかるけど、立体感があることに驚かされる。頭上に通路があるときは、キャラがちゃんと姿を消す。通り過ぎると現れる……など、実にうれしい配慮だ。

すべての部屋を探索したら、いよいよミストの村へ向かうおう。

ウインドスピア

槍系の武器は、空中戦、つまり飛行生物に対して抜群の攻撃力を誇る。このウインドスピアは店で購入することはできないが、序盤はかなりお世話になるだろう。



ブラッドランス

暗黒系の武器ではないのだが、相似の追加効果をもつ。攻撃時に、相手のHPを吸い取り、自分のモノとすることができるのだ。これもウインドスピアと同様、購入不可。

親子2代に渡り、バロン軍竜騎士団の隊長を務める、寡黙で心優しき竜騎士。セシルとは学生時代からの友人で、同じく学友の女性・ローザに魅かれている。所詮は片思いなのだが……。

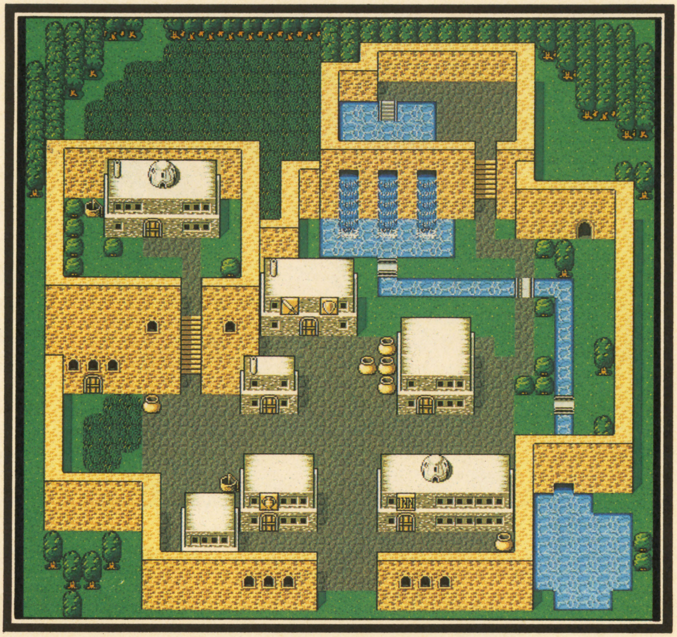
竜騎士カイン

カインに限ってのことではないのだが、竜騎士たちは槍系の武器を好んで使うようだ。

攻撃と防御を兼ね備えている"ジャンプ"。攻撃力は通常の約2倍!!

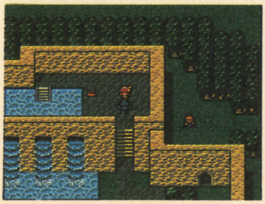
バロン城城下町

セシルの心とは裏腹に、賑(にぎ)やかな町……



バロン城下町

- シドの家
- ?の家
- デビルロード
  トレーニングルーム
- 武器・防具屋
- ローザの家
- 道具屋
- 宿屋・酒場



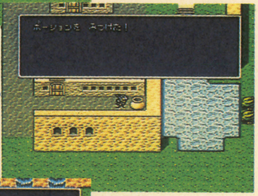
聞き得る限り情報を得よう

ここでもRPGの基本を忘れずに。これから向かわんとしているミストの村の位置や、この周辺の状況などを聞いておこう。また、いくつかのお店に立ち寄って、アイテム類を充実させるておくべし。セシルとカインは魔法が使えない。あとで手に入るとはいっても、ポーションは絶対必需品。遠出することを考えると、テントも買っておきたいね。買物の際、シリーズ共通の“まとめ買い”ができるのは便利だ。値段も一目でわかるし、楽なことこのうえない。

この時点では、なぜか武器・防具屋には入れない。カギが掛かっていて、応対してくれないのだ。きっと何かあるんだろうな～とは思うけど、入れないんじゃしょうがない。ほかにできることをすませよう。

一通りコトを終えたら、いよいよ目的地に向かおう。ミストの村は、ミストの洞窟を抜けたところにある。まずは洞窟へ向けて出発だ。

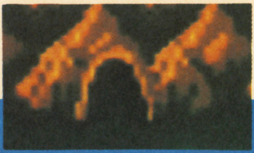
ミストの村に行く前にミストの洞窟を通り抜けなければ……。町を出たら、北西に向かって歩いて行こう。



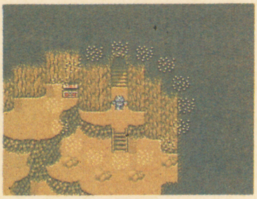
怪しげな物は、とりあえず何でも調べてみる。ときにはいいことがあるかもしれないぞ。

なぜか入れない武器・防具屋。きっと何か条件を満たさないと、入れないに違いない。とっても気になるけど、しょうがないよね。

ミストの洞窟



白い霧の立ち込める洞窟。漂う雰囲気は、危険



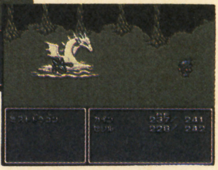
声の主に諭されても引き下がらなければ、霧が集まって……。

最初の大物。ミストドラゴンを倒せ！

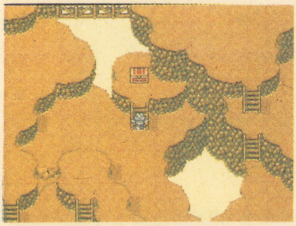
入ってすぐの階段で、どこからともなく声が。引き返すよう諭されるが、無視して進もう。出口付近でも同じことを言われるがNOと答えると……霧が集まってミストドラゴンが出現！ カインの“ジャンプ”を多用すると、かなり早くカタがつくぞ。ある程度攻撃すると、霧に姿を変えてしまう。この間は一切の攻撃を受けつけないばかりか、ダメージを跳ね返す。元に戻るまでは、“ぼうぎょ”でやり過ごそう。

VSミストドラゴン

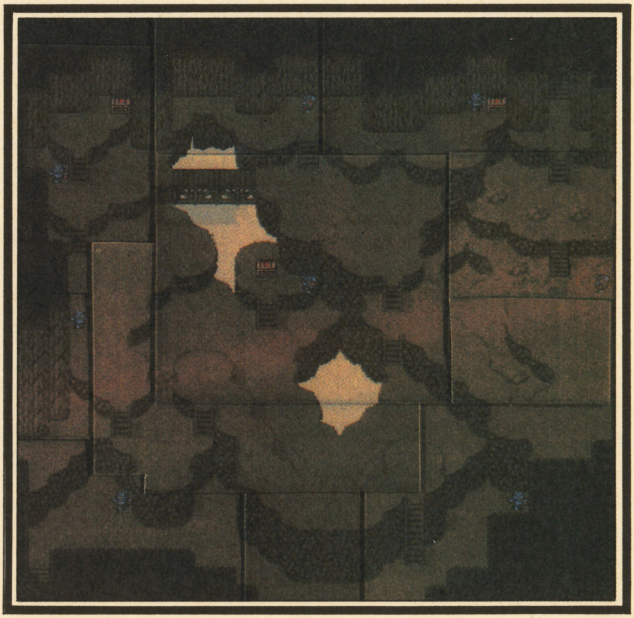
ミストドラゴンが霧に姿を変える！ この間の攻撃は無効。体力回復せよ。



カインの“ジャンプ”はかなりのダメージを与えられる。連続して使おう。



ミストドラゴンとの対決の前に、宝箱のチェックを忘れるな。この戦いにはもちろん、後々にも必要となる物ばかりだ。



ミストの洞窟

いつのころからか、このミストの洞窟に、一匹の幻獣が住みついた。セシルの最初の目的は、その幻獣を倒し、ミストの村へ行くこと。１フロアしかないし、それほど複雑な地形ではないので、霧に臆することなく進もう。

そして……!?

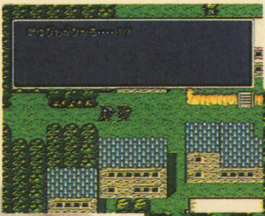
ミストの村

緑豊かなミストに届けた指輪が１つ……

ボムの指輪が光って……

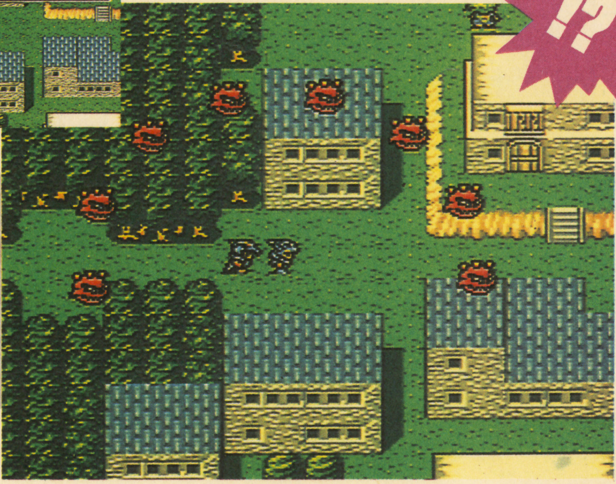
ミストドラゴンとの死闘の末、たどり着いたミストの村。ここへボムの指輪を届ければ、最初の役目が終わる……。国へ帰れるかもしれない……。そう安堵し、村へ足を踏み込んだ途端、ボムの指輪が怪しげに光りだした。と、同時に、中からモンスター・ボムが飛び出し、村を覆うように襲う……。これは一体、どういうしたことなんだ!?

緑豊かな小さな村。戦いで傷ついた体を休めよう。



体と心を休めるにはかっこうの場所だと思っていた。よもやこんな小さな指輪が、悲劇の引金になろうとは、誰が考えただろうか。

!?



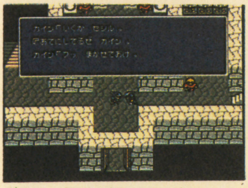
村を覆うように襲うモンスター・ボム。いったいバロン王は何のためにこんなことを？

ボムの指輪

小さくて軽い、一見普通の指輪。中にはモンスター・ボムが閉じ込められていたらしい。ミストの村に着いた瞬間、飛び出した。

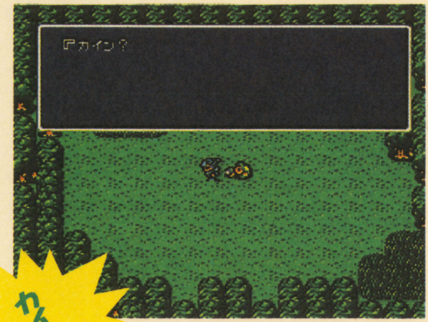
カインは何処へ!?

ボムの攻撃で、村を投げ出されたセシル。意識を取り戻し、辺りを見回すと……。傍らに少女が倒れていた。ミストの村の、唯一の生き残りらしい。だが、親友・カインの姿は見あたらない。



ずっと一緒だと誓ったはずなのに

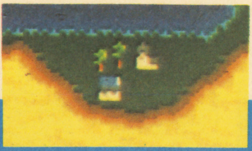
このイベントで、セシルはカインと生き別れてしまうのだった。ともかく、傷ついた彼女を助けなければ……。カインの無事を祈りつつ、休める町を探そう。



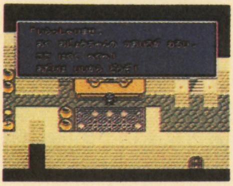
カイン!?

セシルが意識を取り戻したとき、すでにカインの姿は見あたらなかった。生きていれば、いつかきっと会えるだろう……。

オアシスの町カイポ



オアシスの横の小さな町。少女を休ませるとしよう



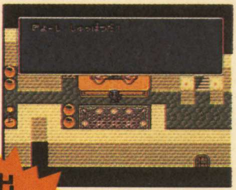
オアシスは人々の心を穏やかにする。この町の住人は、その恩恵を受けて、みんな親切だ。言葉に甘えて、少女を休ませよう。

真夜中に訪れる、非常識な客たち

少女を休ませるために訪れた、オアシスの町。宿屋のおやじは、快くタダで泊めてくれた。住む家をなくした少女と、親友を失った暗黒騎士。心を落ちつけよう休んでいると……真夜中に突然、４人の訪問者が。用件など聞かなくても雰囲気でわかる。こいつらはただ者ではない。そして、ある事件が起きる。２人の仲を深く結びつけるイベントだ。

お互いの心に傷を負い、休む２人。明日はきっといいことが待っているはず……。

真夜中に訪れる、招かざる客。雰囲気からして、ただごとではないようだ。だが一体、何の用事だ？

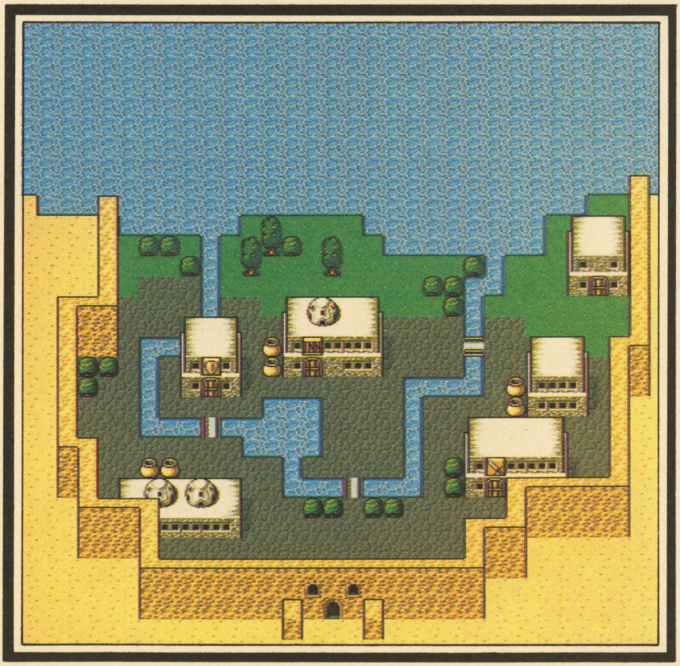


出発!!

あるイベントをへて、２人はともに旅することになった。

オアシスの村
カイポ

- 防具屋
- 宿屋・道具屋・酒場
- 民家
- 武器屋



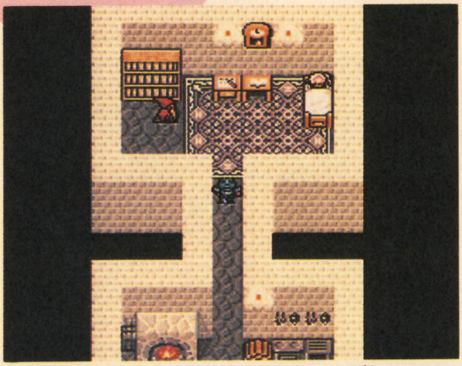
奥の民家を訪ねると、行き倒れた女性がいるという。もしやそれは……。

瀕死のローザを救うために!!

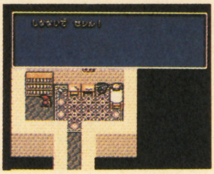
リディアと行動を共にすることになったら、町を探検しよう。人々の話を聞いてみると、新たな洞窟や城の名前が挙がる。これから行くことになるのだから、所在をしっかり覚えておこう。また、全ての店に顔を出すことも忘れずに。話を聞いているうちに、彼らの他にも行き倒れた女性がいるらしいことを知る。どうやら奥の民家にかつぎ込まれたようだ。嫌な予感のするまま行ってみると……何と、バロン城で別れたはずのセシルの恋人・ローザではないか! どうやらセシルの後を追って来たのだが、高熱病にかかってしまったらしい。これを治すには、“砂漠の光”という宝石が必要とか……。アントリオンという魔物が住む洞窟にあるらしい。ローザを救うために、急いで取りに行かなければ!

彼女を救えるのは今、セシルしかいないのだから……。ローザの心に応えろ!

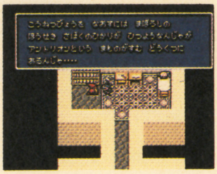
ローザ!!



なんと噂の主はローザだった。バロン城で別れたはずなのに……。恋する女は強い。セシルの後を追って、単身でくるとは……。

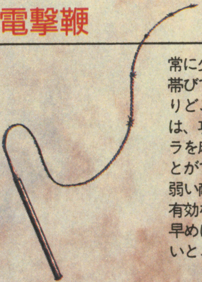


高熱におかされながらも、セシルの身を案じるローザ。彼女にとって、彼は命よりも大切な存在なのだ。



高熱病を治すには“砂漠の光”が必要。健気なローザのために、魔物の巣へ向かおう。危険は承知のことだ。

電撃鞭



常に少量の電力を帯びていて、当たりどころによっては、攻撃したキャラを麻痺させることができる。雷に弱い敵キャラにも有効な武器なので、早めに手に入れたいところだ。

ファイアビュート

この武器自体がもつ微量の熱により、力、体力、素早さの数値が上昇する。が、魔法に関する能力は低下してしまう一長一短な武器。炎に弱い敵には、絶大な効果を発揮する。

召還士リディア

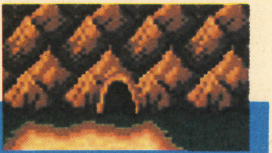
幼年期

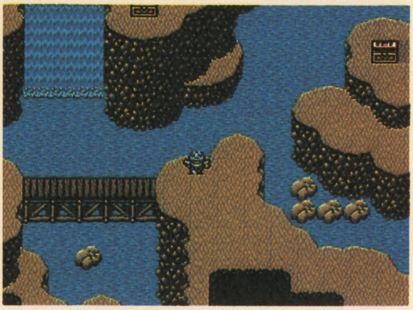
召喚士とは、幻界から幻獣を呼び出すことのできる者のこと。その能力は、各自違うのだが男よりも女、大人よりも子供のほうが優れている。その点、このリディアはそれらの条件を満たしているため、セシルたちの心強い味方となってくれるだろう。

はじめのうちはチョコボしか呼べない…。

地下水脈

水流るる入り組んだ洞窟。セシルよ、焦るなかれ





澄んだ水で満たされた洞窟。小さな滝のようなものが、あちらこちらにある。足を止めると、景色に心を奪われてしまいそうだ。

橋の途中で、とおせんぼしているおじい。彼がカイポで噂の、賢者テラだ。

テラが仲間に!

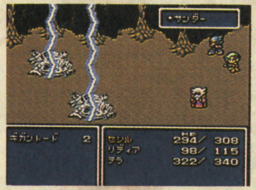
セシル同様、テラもダムシアンへ向かう途中だった。協力して、地下水脈の魔物を倒せ!

ローザの病を治すため、アントリオンの洞窟へ向かう2人。そこへ行くには、地下水脈のダンジョンを通り抜けなければならない。焦る心を落ちつけて、じっくり攻略しよう。

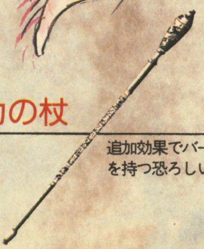
入ってすぐ、変なおじいが道をふさいでいる。彼が噂の賢者テラだ。この先にいる魔物に手こずり、先に進めないらしい。セシルたちも先を急ぎたいもの。彼と協力して、魔物を倒すことにしよう。

賢者テラ

偉大なる魔導師・ミンウが治めているミシディアの出身。しかし現在は、辺境の村カイポで1人娘のアンナと住居をともにしている。今では体得した魔法の大部分を忘れてしまっているが、その能力は60歳という高齢にしては信じがたいものを持っている。賢者ということもあり、白魔法も黒魔法も扱えるのだ。

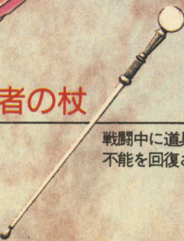


ゴルベーザを追って単独行動に。



力の杖

追加効果でバーサクの力を持つ恐ろしい杖だ。



賢者の杖

戦闘中に道具として使うと、戦闘不能を回復させることができる。

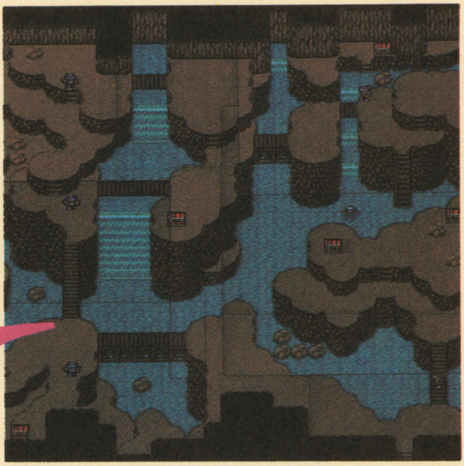
地下水脈

ミストの洞窟と比べると、ずいぶん広く、入り組んでいる。一度地下３階まで降りるが、再び上がっていくという進みかただ。

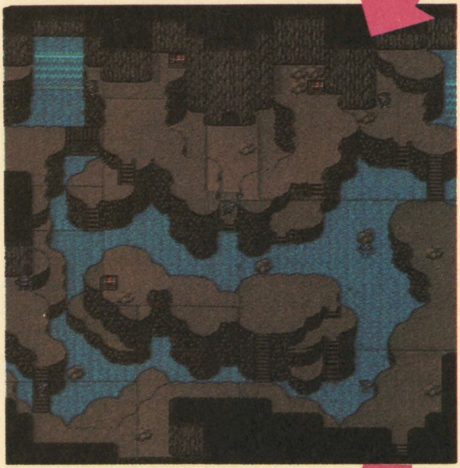
モンスターの出現の仕方や強さが、かなり高くなっている。白魔法を使えるキャラが２人もいるので、こまめに回復させながら進むようにしたい。宝箱も豊富にあるので、取り忘れることなく開けて行こう。

地下水脈にいる魔物の元へ行く前に、いったん地上へ出る。このとき、セーブを忘れずに。

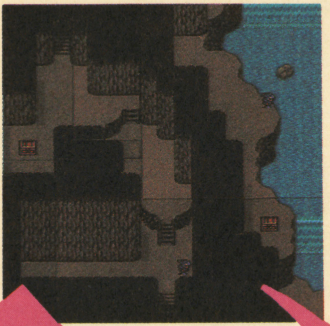
地下水脈南口



地下2階

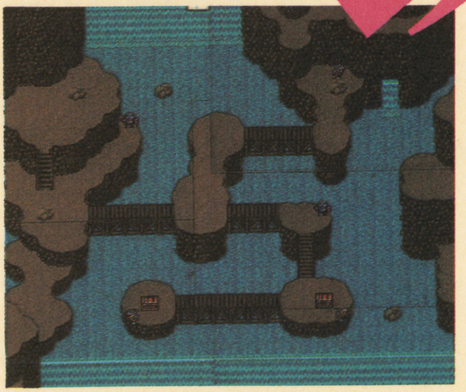


地下2階

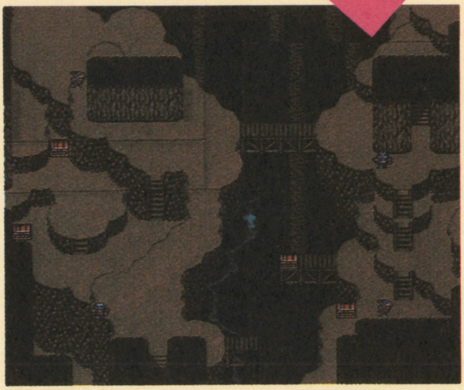


さっき行った２階とは、ちょっと場所が違う。が、同じ２階だ。ダンジョンの構成が入り組んでいるので、迷わないようにしよう。

地下3階



地下水脈北口



魔法陣の上で休憩を

地下２階にある小さな部屋。中央に魔法陣があり、なんとなく神聖さを感じる場所だ。

どうやらここには結界が張られているらしく、邪悪な者は入ってこれないようだ。魔法陣の上ではテントやコテージを使って休んだり、セーブをすることができる。安心してゆっくり養生しよう。

ミストの洞窟を除き、たいてい各ダンジョンに１つはある。うまく利用して旅を続けよう。テント　の買い置きは確認しておくべし。

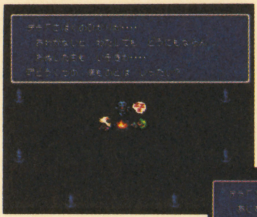
最初はテラが教えてくれる。さすがに賢者だけあって物知りだ。彼が仲間でよかったね。

地下水脈の魔物とは!?

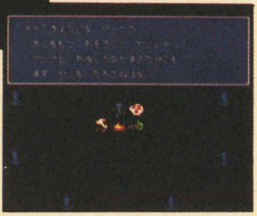
魔法陣の上で休んでいると、テラがセシルに話しかける。自分のこと、リディアのこと、砂漠の光のこと。そして……魔物について。

どうやら超巨大なヤツで、８つの足を武器に襲いかかって来るらしい。それ以上のことは語ってくれないが、戦闘になればわかるだろう。

それより今は、体を休めておくべきだ。



小さなリディアが寝ている側で、野営をする２人。来るべき魔物との戦闘に、セシルの心は穏やかではない。



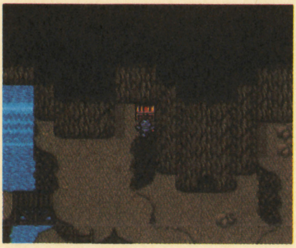
巨大な８つの足をもつ恐ろしいヤツ、らしい。淡々と語るテラの表情にも、不安が隠しきれないようだ。

レベルアップに励むべし

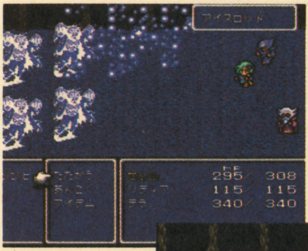
対地下水脈の魔物に備え、今のうちにレベルアップをしておこう。多少は手間がかかるけれど、攻撃・防御力はもちろん、HPやMPも上がって戦いやすくなるからだ。これもRPGの基本だね。

リディアやテラのレベルが上がれば、より強い魔法を覚えることができる。各魔法が、どういった効果をもつのか、どういう状況で使えば有効かを確認しておきたいしね。

また、宝箱も必ず開ける。とんでもなく儲け物のアイテムが　隠されているかもしれないからだ。戦えば戦うほどお金も入るし、一石二鳥以上の御利益があるぞ。



宝箱を開けろ！　なかに何が入っているかはわからないが、旅に必要な物ばかりのはず。取っておいて損はない。また、こまめにアイテムの整頓もしておくと、いざというとき、リストが見やすくていい。



ただレベルアップを図るだけでなく、いろいろな確認もしておく。リディアのアイスロッドは“つかう”と追加効果を発揮。ただ攻撃するよりダメージが大きい。

絶大な攻撃力をもつセシルの剣も、なかなか効かないことがある。そういったモンスターには、魔法が有効だ。基本はサンダーだね。

複数で現れた場合、どのキャラから倒すかが勝負の要。うかうかしていると、どんどんダメージを喰らい、悲しい結末になる。一瞬ですべてを判断する力がつく。

地下の湖

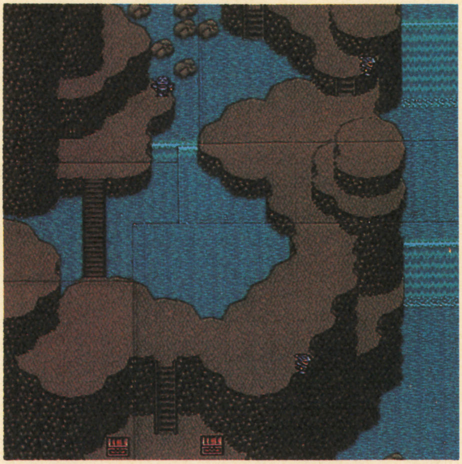
前のページで書いたとおり、レベルアップしてきた人は正解。地下水脈北口を抜けると、いったん地上に出るのだ。テントやコテージで休憩をとり、セーブをしておこうね。

それを終えたら、上に見える洞窟へ進もう。ここが地下の湖に通じる入口だ。入ると、一気に魔物のところへ行くことになるぞ。十分、心の準備をしておこう。

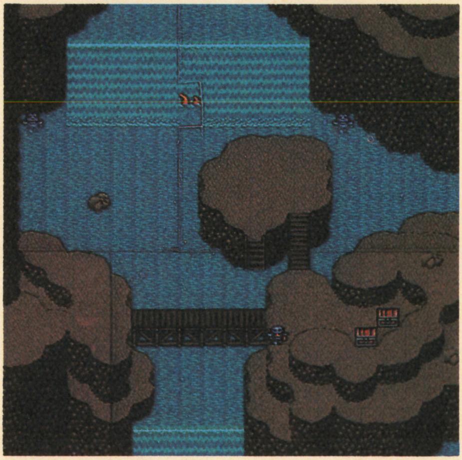
中を進んで行くうち、たまにランダムで敵キャラが出てくることがある。だがここでは、なるべく戦わないように。大きな戦闘の前なので、ダメージを受けることはしたくないからだ。卑怯だけど逃げまくって、HP・MP共に満タン状態を維持したい。魔物の強さは、さすがに中ボスだけあってハンパじゃない。レベルが低いと、かなり辛い戦闘になるはず。

アイテム類は充実しているだろうか？　なければ魔法で戦うようになる。そういった確認も、必ずやっておくべし。

地下に通じる滝



地下の湖

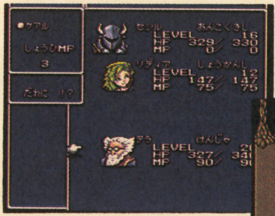


地上でキャンプをしているの図。のんびりしていて、とても落ち着くシーンだ。ローザの病状が気になるけど、慌てずに１つずつ攻略していくしかない。休めるときにちゃんと休んでおこう。

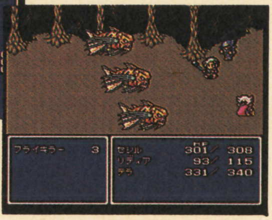
魔物との戦いに備えろ

何度も書くが、敵に会ったら逃げろ。魔物のいる場所までは距離が短い。ダメージは受けたくない。が、いかんせんランダム。必ず逃げきれるとは限らない。多少のケガはまぬがれないだろう。

地下の湖まで来ると、魔物の姿が一部分見える。そこへ行くまでなら、操作は自由にできるぞ。失ったHPやMPを、アイテムで回復させておこうね。くれぐれもこれらのことには注意。なにしろ、とんでもない魔物なのだから。



戦いでダメージを受けたキャラには、魔法かアイテムで回復させておく。



運悪く敵から逃げられなければ、肉弾戦で挑め。魔法を使うのは、あまりにももったいないからね。

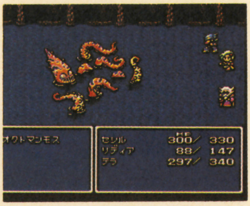
VSオクトマンモス

滝壺の中央に、怪しげな姿を見ることができるかな。これが魔物の正体。巨大なタコのモンスター・オクトマンモスだ。

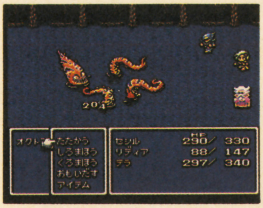
セシルはもちろん剣で、リディアは召喚魔法の“チョコボ”での攻撃が有効だろう。テラは黒魔法で応戦しつつ、パーティーのHP回復に努(つと)めたい。

オクトマンモスは、ある一定のダメージを喰らうたびに足が減って行く。そのつど、攻撃力も下がるぞ。最初のうちは非常に苦しいが、1本になればクリア同然。

テラをも恐れさす魔物の正体。一見、足が8本以上あるようだ。多彩な攻撃はしないかわり、攻撃力がある。各自、最も有効な攻撃方法で押しまくろう。



攻撃力があれば、耐久力もある。8本の足が、それを表現している。最初のうちに与えるダメージは、本体よりも足に受けているのだろう。

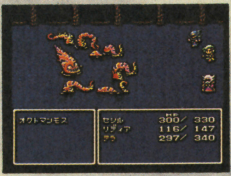


足が減ってくれば、ダメージの受け方が変わってくる。セシルの一撃で、なんと204もの数値を浴びせたぞ。

2本なれば、動きが鈍る。もう一息だ。もっている限りのアイテムや魔法を駆使して、息の根を止めろ。

見事オクトマンモスを倒せば、ヤツの背後に隠されていた通路が開ける。ここからダムシアンへ出発。

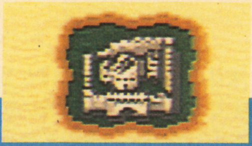
どこからともなく、町の地下水路に住み着いたタコ。必然的に、様々な汚水を被ることになり、突然変異生物と化した。それが何故地下湖に存在するようになったのかは不明だが、時折舞い込んでくる人間を喰らい、食欲を満たしているらしい。



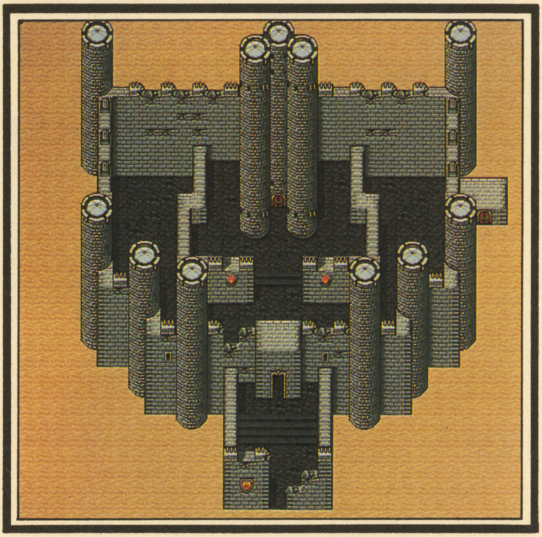
強力な吸盤がついている足を使い、締めつけてダメージを与えてくる。

オクトマンモス

ダムシアン城



大激戦の末たどり着いた古城は崩壊して



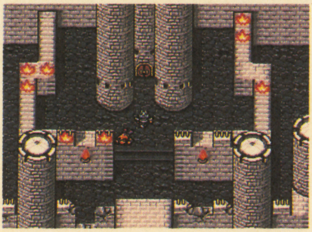
ダムシアン城

ギルバート一族の尽力により、国家としての反映を続ける商業都市。約200年前に、バロンとの国交を正式に樹立。

城に何が起きたのか？

オクトマンモスとの激戦を終え、ダムシアン城へ向かう３人。ローザ回復への一歩を踏み出したことになる。心浮かれて城に行ってみると……。何かの攻撃を受けたのか、崩壊していたのだった。倒れている兵士たちの息も絶え絶えで、何が起きたのか聞き取れない。

まだ炎が残っているところを見ると、崩壊してから、そう時間は経っていないようだが……。



いったい何が起きたか？あたり一面燃えている。生存の見込みは薄いだろう。

王族ギルバート

商業国家であるダムシアン王国の、王位継承権を持つ７代目王子。初代ギルバート王の吟遊詩人（ぎんゆうしじん）の血を濃く受け継ぎ、王の座につくのを嫌って諸国漫遊の旅に出る。外見どおりの優男（やさおとこ）で力は弱いのだが、詩（うた）の才能に関しては誰にもヒケをとらない。

“くすり”を選択すると、１つのポーションを全員に使用できる。

夢の竪琴

竪琴は２種類あるが、どちらもギルバートにしか扱うことはできない。この夢の竪琴は、スリプルの追加効果をもつ。

別れ、そして新たな出会い

城の内部を歩き回っていると、あるイベントが行われる。これを終えると、なんとテラがパーティーから抜け、代わりにギルバートが加わるのだ。

黒・白魔法共に使えるキャラがいなくなるのは、パーティーとして大きな打撃。幼いリディアでは、ちょいと不安が残るからね。それに、いつでも別れというものは悲しいことだ……。

そんな悲しみを、ギルバートはきっと吹き飛ばしてくれるだろう。だが所詮は王族。実戦経験は少ないはず。まして、詩を愛しているなら戦いなど好まないだろうし……。ちょっと不安はあるものの、新しいパーティーの活躍に期待しよう。

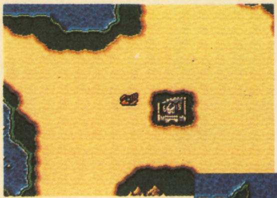
テラの後ろ姿を見送るセシル。今度また、彼に会うことができるだろうか。頼りになる、ちょっとおかしな賢者殿に……。

新しい仲間が加わるのは、悲しみを吹き飛ばしてくれていい。今までにいないタイプのキャラなので、新鮮味もある。だが不安もある。

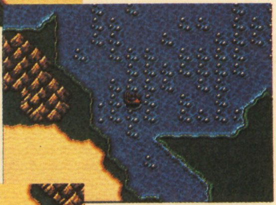
ホバー船に乗って、出発!!

感傷的な気分はあるが、ローザのことを忘れていないか？　そう、彼女のために、アントリオンの洞窟まで"砂漠の光"を取りに行かなければ。

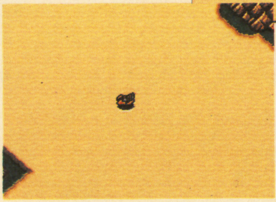
ギルバートに事情を説明すると、ホバー船を用意してくれた。これに乗れば、地上はもちろん浅瀬まで渡れてしまうのだ。急いで洞窟へ向かおう。



突如、城の外に現れるホバー船。パーティーの機動力があがる、ありがたいアイテムだ。敵の攻撃も受けず、一気に目的地へ行かれるのがミソ。



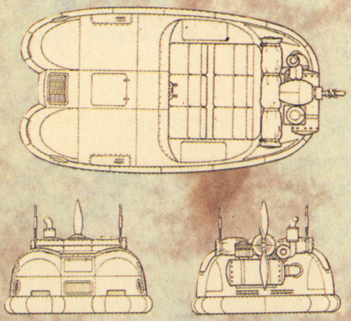
船とはいっても、浅瀬だけにしか行かれない。ちょっと役不足に感じるけど、ここではこれで十分なのだ。許してね。



浅瀬だけしか渡れなくたって、地上を進めちゃうのだ。これはホントに便利だよ。無傷で目的地へ、なんて楽じゃない。

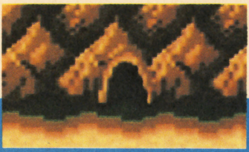
最初に手に入る乗り物。ギルバート家が所有しているが、ギルバートの参入により使える。ホバークラフトが正式名将。

最大の特徴は、これに乗ることにより、浅瀬を渡れるようになることだろう。ダムシアン城からオアシスの村カイポ、アントリオンの洞窟、そしてホブス山西口へと、3カ所に渡って行き来が可能になるのだ。後半でもお世話になるかも？

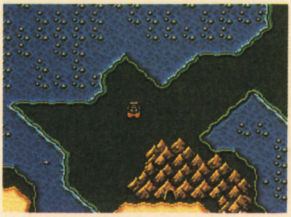


ホバークラフト

アントリオンの洞窟



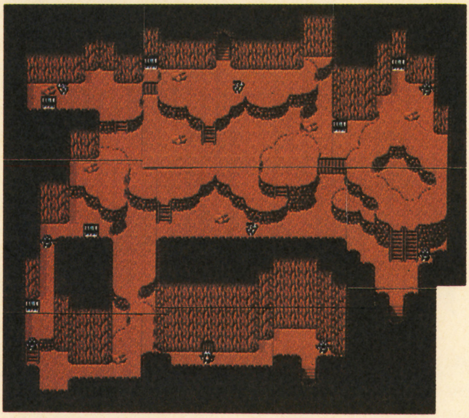
“砂漠の光”を求め、危険な匂いのする洞窟へ……



ホバー船を使って、ダムシアン城から写真上部の浅瀬を渡ってくれば着くぞ。

地下水脈に比べると、ホントに楽なダンジョン。３つしかフロアがないし、それほど入り組んでもいない。途中、魔法陣のある小部屋が用意されている。必ず回復させ、セーブすることを忘れずに。このダンジョンのどこかに、ローザを助けられる宝石“砂漠の光”が隠されている。急いで探し出さなければ……。最下部・アントリオンの巣に、目指すべき中ボスがいるぞ。

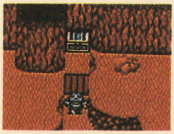
地下１階



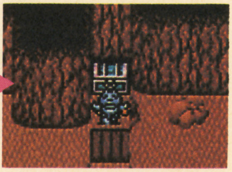
橋に惑わされるな

ダンジョン内の段差には、橋がかけられている。近道ができて便利だけど惑わされがちだ。

このゲームには立体感があるため、通常は行けそうもないところを、ヒョイとくぐれたりしてしまう。人間の目ほど不確かなものはない。惑わされることなく、くまなく歩き回ろう。

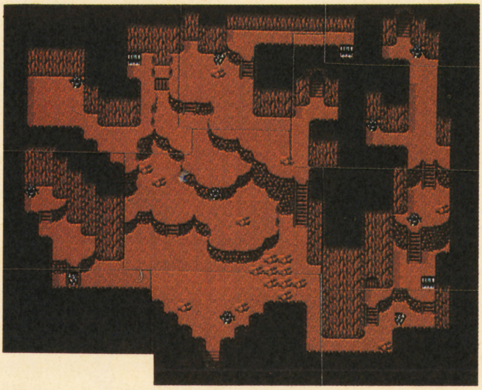


なんだか橋がジャマしていて、向こう側に行けそうもないな……。

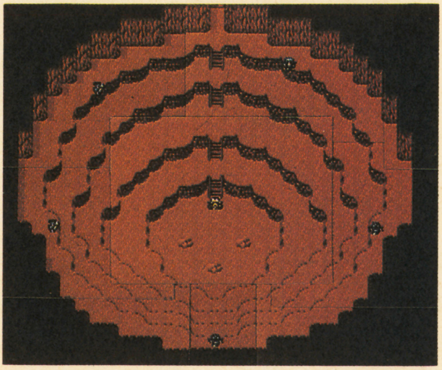


でも、とりあえず行ってみること。ほら、ちゃんと着けるでしょ。こんなふうに惑わされがちなのだ。

地下2階



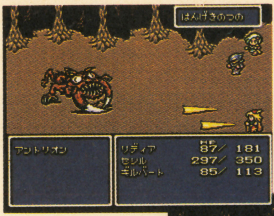
アントリオンの巣



VSアントリオン

アントリオンの巣、というフロアには得るべきものが何もない。ただ巨大モンスター・アントリオンが待ちかまえているだけ。マップを見てもらえばわかるとおり、通路を下へ下へとどんどん降りて行こう。

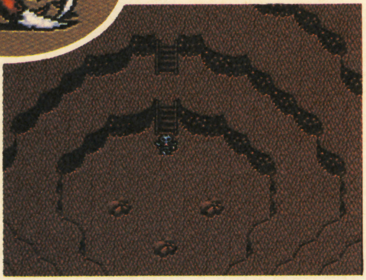
目標のモンスターは、巨大なアリだ。ここへ来るまでに、数々の戦闘をこなしてきたキミなら、どんな攻撃方法が有効か、わかりきっているはず。たった3人のパーティーだが、全力を尽くして戦おう。やはりここでも、おすすめしたいのはリディアの召還魔法"チョコボ"。早めに切り上げたいからね。



アントリオンの必殺武器・反撃の角。これはすっごく痛い。ほとんど全ターン中使ってくるので、回復魔法を用意しておこう。

連続召喚魔法で、どんどんダメージを与え続けろ！ 最も有効で確かな攻撃方法といえよう。

見事撃退！ 3人とも無事で、とりあえずよかった。



ここがアントリオンのいる場所。ここへ近づく前に、体力回復などしておこう。

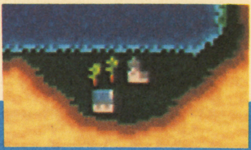
広大なダムシアン砂漠の地下深く、ひっそりと棲息する魔物。その姿は、さながら巨大なアリ地獄のようだ。

普段の性格は温厚そのもので、完全なる肉食というワケではない。そのためか、こちらが危害

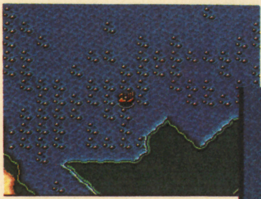
アントリオン

を加えない限り、人間を襲うようなことはない。しかし、いったん怒らせてしまうと手のつけようがなくなる。一説によると、小規模の村の1つや2つは、一晩の間に砂中に沈めることができるらしいが……。

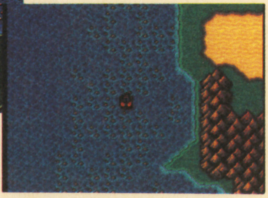
オアシスの町カイポ



再び戻ってきたカイポの町。はたしてローザは



アントリオンの洞窟からカイポへ行くには、まずこの浅瀬を通って。



次にこの浅瀬を通過する。下へ行って陸地が見えたら右に曲ろう。

やっとの思いで“砂漠の光”を見つけた3人。急いでカイポにいるローザのところへ届けよう。彼女の命の火は、まだ消えていないだろうか？

上の写真のような位置にある浅瀬を渡りながら、目指すはオアシスの町。経験値上げも体力回復も必要ない。時間が惜しいからね。彼女の命の炎が消えてしまったら、すべては水の泡だから……。

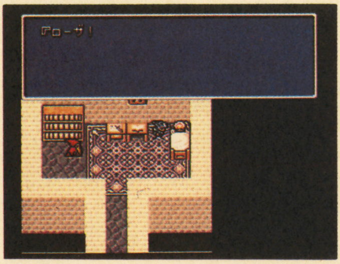
ローザ、いま戻ったぞ!!

カイポに着いた。急いで奥の民家へ進み“砂漠の光”をローザに使おう。はたして……。

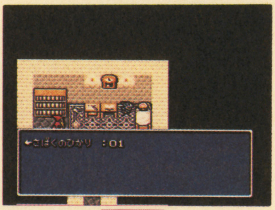
目を覚ました!!　ローザの命が助かったぞ!!苦労した甲斐があった。彼女の命の火が消えてしまったら、きっとセシルは普通の精神ではいられないだろうから……。

とりあえず、彼女にはいいたいことがある。「無茶をするな」、と。

ローザの命は助かった。これですべてよし、としよう。



愛するローザの枕元で叫ぶセシル。彼の心は、宝石を通して彼女に通じるだろうか。



苦労して取ってきた宝石だ。よもや効かないことはあるまい。彼女の枕元で使ってみると……。あたり一帯が光輝き、ローザが目を覚ました!!

彼女は開口一番、セシルの身を案じた。心優しき女性だ。

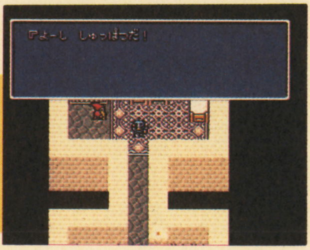
新たな目的地へ出発!!

すんでのところで命拾いをしたというのに、ローザはセシルと旅立つという。いま助かったばかりなのに、なんて無茶をする人だろう。

次なる目的地は、ファブール城だ。ここへは、ファブールの危機を告知しに行かなければならない。長い旅になりそうだ。

ローザが仲間に!!

病みあがりだというのに、一緒に旅したいというローザ。心強い味方が加わった。

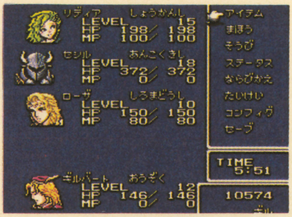


キャラの状態やレベルアップをはかれ!!

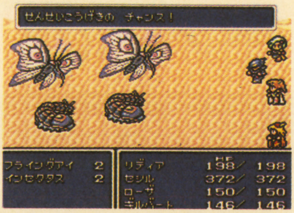
ローザが仲間に加わったことで、総パーティー数が４人になった。単純に考えても、かなり戦闘が楽になる。

彼女は白魔導師。回復系の魔術を使いこなせるエキスパートだ。リディアとともに、パーティーの要となってがんばってくれるはず。うまく使いこなしていこう。

ここで再び、各キャラの状態を確認しておきたい。とくにローザの性質や魔法の種類などはね。４人を生かすも殺すも、動かしているキミ自身が、キャラの状況把握しているか否かにかかってくるからだ。

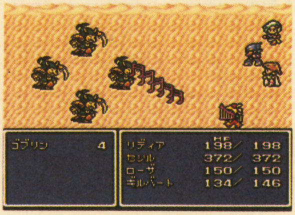


各キャラのステータス画面を見てみよう。上の写真ぐらいレベルがあれば、かなり楽。



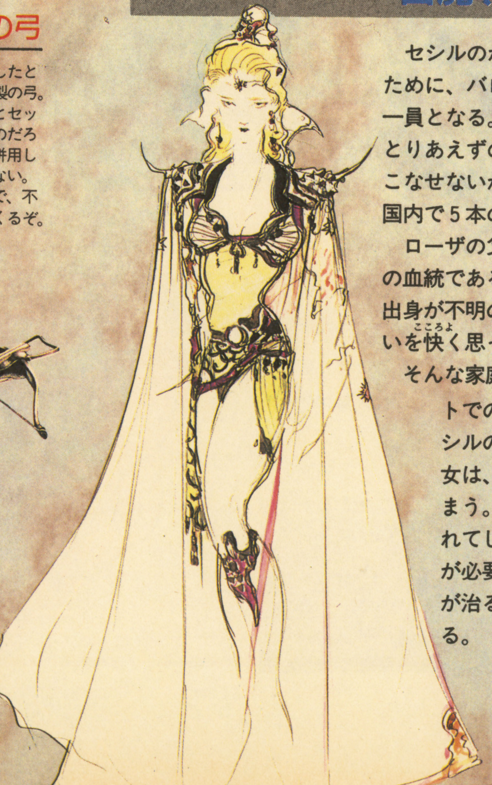
レベルが上がれば、各ステータスも上がる。そうなれば、先制攻撃や強力な一撃を相手に喰らわせやすい。

複数の敵に対しても４人なら短時間で倒せる。それだけ総攻撃力が上がっているのだ。



各キャラの特徴はつかんでいるか？ YESかNOでは、戦闘に大きな影響が出るぞ。

白魔導師ローザ



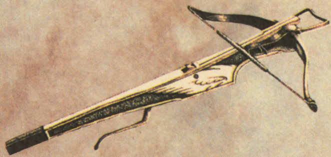
セシルのかたわらにいたいがために、バロン国白魔導師団の一員となる。白魔法に関しては、とりあえずの応急処置程度しかこなせないが、弓の腕はバロン国内で５本の指に数えられる。

ローザの父親は竜騎士。貴族の血統であるローザ家の人々は、出身が不明のセシルとの付き合いを快く思っていない。

そんな家庭環境のなか、ミストでの、ある事件後、セシルの安否を気遣った彼女は、後を追いかけてしまう。その結果、病に倒れてしまい、“砂漠の光”が必要となるのだ。病気が治ると同時に仲間に入る。

与一の弓

那須の与一が愛用したといわれている、和製の弓。本来は、与一の矢とセットで使うべき品なのだろうが、ほかの矢と併用してもとくに支障はない。装備しているだけで、不思議と力がわいてくるぞ。

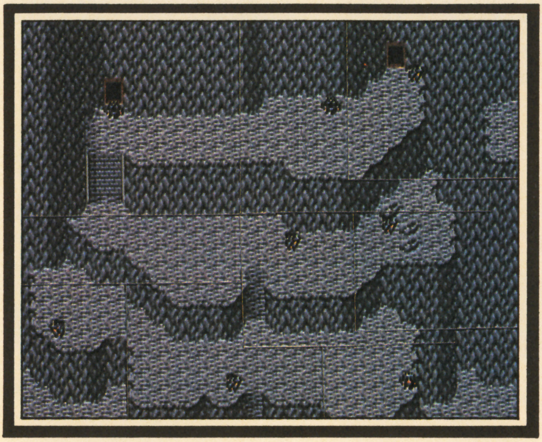


エルフィンボウ

エルフ一族が愛用しているボウガンの一種。魔力がこめられていて、装備することにより様々な効果を生み出す。戦闘中に道具として使用すると、シェルの効果になる。

ホプス山

ファブール城への関門を越えろ!!



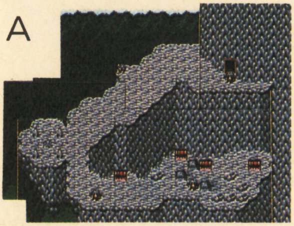
山の景色を堪能しつつ、頂きを目指せ

ファブール城へ向かう４人の前には、ホプス山がそびえ立つ。ここをクリアしないと、先には進めないのだ。

西口から入ってあたりを見まわすと、２つのドアが目に入る。左をA、右をBとすると、まずAに向かおう。豊富な宝箱と魔法陣があるからだ。セーブ後、今度はBに。これは山頂へつながっている。

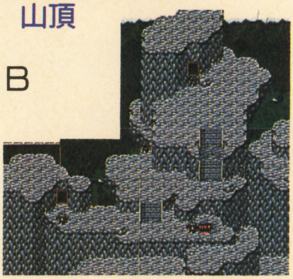
ホプス山西口

A

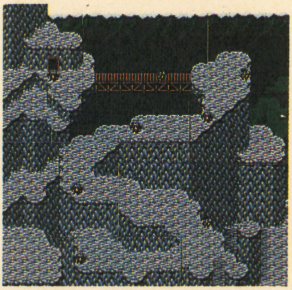


山頂

B



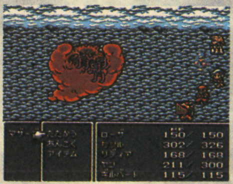
ホプス山東口



マザーボム

魔の力によって、元々は単体のボム同士を結合させた結果、このマザーボムが生み出された。

しかし、結合がうまくいかなかったせいなのか、ある程度ダメージを与えると、大爆発とともにボムに分裂する。



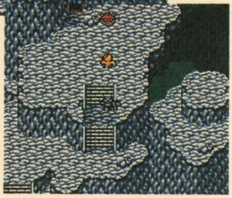
一見、強そうに見えるが、じつはたいして強くない。

モンク僧を助けろ

山頂に近づくと、上のほうから何やら音がする。急いで行ってみると……たくさんのモンスターに、ファブールのモンク僧が囲まれているではないか！ 固唾を飲んで見守っていると、彼はあっというまに全滅させてしまった。

だが、それを待っていたかのように、ボスクラスのキャラが彼に近づいて……。

モンスターに囲まれているモンク僧。ザコはあっさり倒した。

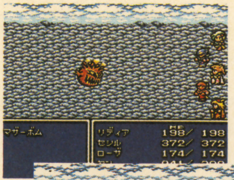


が、手強そうなヤツが残り、彼に近づいて行く……。

VSマザーボム

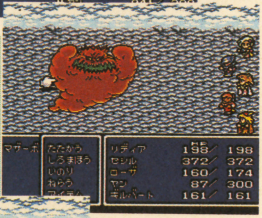
4人が戦いに参加すると画面が切り替わる。敵をよく見るとただのボム。だが侮ってはいけない。ある程度ダメージを与えると、こいつは巨大な炎の魔人に変身する。リディアの“チョコボ”は毎度のことながら、ヤンの“ためる”も駆使して戦え。そしてまた、ある一定のダメージを加えるとボム・ペイニーボムの各3体に分裂する。その際、絶大なエネルギーを発するためか、パーティーの何人かにダメージを与える。分裂してからは普通のヤツよりちょっと耐久力があるだけ。恐くない。

この激戦をクリアすると、モンク僧がパーティーに加わるぞ。



一見はただのボムだった。が、侮ると痛い目にあうぞ。

変身!!



ある程度のダメージを与えると、巨大な炎の魔人に。これが、マザーボムの正体だ！

そしてさらにボム6体へ。通常のボムより耐久力があるが、これといった変化はないぞ。

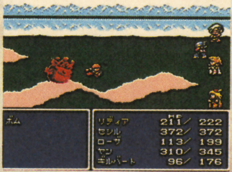
ヤンが仲間に!!

ヤンはファブールの人間。パーティーに加わって故郷へ！

モンク僧ヤン

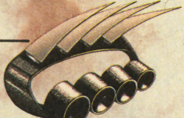
武闘派国家の名で通っているファブール王国。そのなかで設立されている、モンク僧兵隊の隊長を務めている。つねに寡黙で、冷静沈着な男だ。

モンク僧とは肉体を武器として戦う兵士であり、通常は素手で戦う。しかし、それでは敵モンスターに決定的なダメージを与えることができない。そこで考案されたのが“爪”だ。もちろん、ヤンもその例にもれず。爪系の武器を購入してあげよう。ちなみに、ヤンは両ききである。



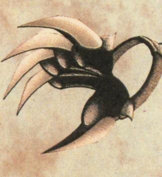
“けり”は、敵キャラ全体にダメージを与えることができる。

雷の爪



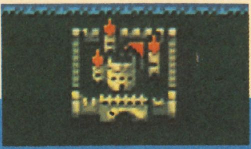
特殊な金属で作られ、敵を攻撃することで帯電する。雷に弱い敵キャラ、とくに機械系に効果絶大。

地獄の爪



地獄に漂う瘴気を塗り込め、敵を攻撃したと同時に毒を送り込む。力を上げる効果ももつ。

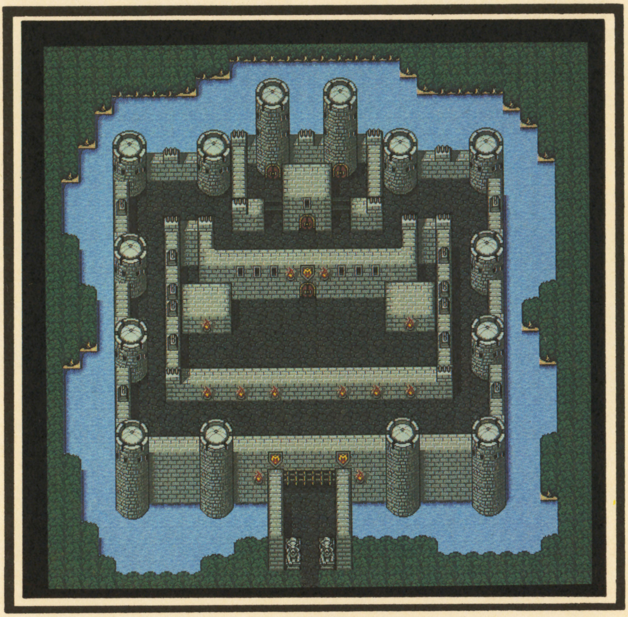
ファブール城



ファブール危機の知らせをもって、5人がたどり着いたとき

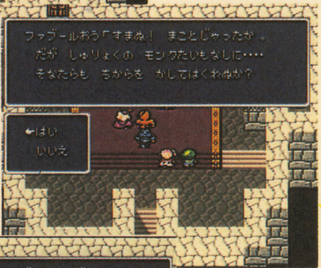
平和な城に、魔の手が迫る!!

ヤンの案内で着いたファブール城。王に面会し、危機に見舞われていることを話そう。ダムシアンの崩壊、ファブールに迫る魔の手のこと……。だが最初、暗黒騎士のセシルがいうことを王はなかなか信じてくれない。知り合いであるギルバートの説明により、やっと理解するのだ。いまこの城を守る者がいない以上、セシルたちが協力するのだ。



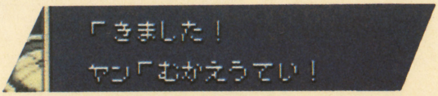
ファブール城

暗黒騎士が僧正ファブールの教えに下ったことにより、一躍有名となった。モンク僧による自衛団が設立されており、ヤンはそこの隊長を務める。

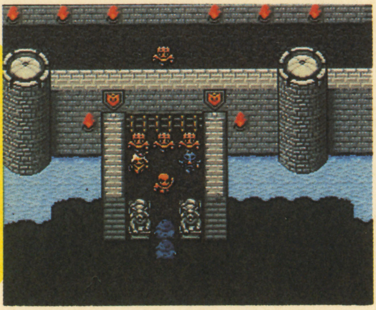


暗黒騎士は、どこへ行っても嫌われ者。姿形で人格を判断されてしまう。彼がどんなに親身になっても、誰も分かってくれない……。

ギルバートの言葉により、王もやっと理解してくれた。ヤンとともに、最前線で戦おう。信じてくれなかったから力を貸さない、なんていうのは、騎士の言葉じゃないからね。



来たぞ!!

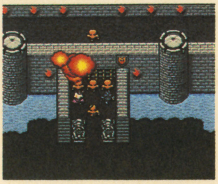


ついにファブール城の門に、モンスターが迫った。ここからいままでで最も激しい戦闘が繰り広げられる…。

休む間もない戦い。これが本当の戦闘…

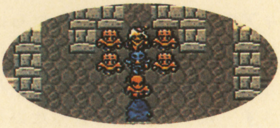
「赤い翼」の襲撃を皮切りに……

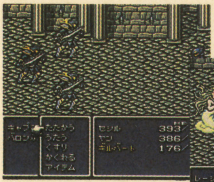
門前に迫った敵を倒したかと思うと、いきなり上空からの攻撃が！　その主は、なんと「赤い翼」！　ついこのあいだまで、セシルの所属していた飛空挺団だ。だがいまは、そんなことを考えている余裕など……ない。



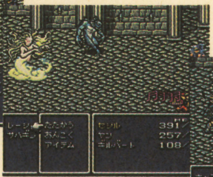
次々と落とされる爆弾が、ファブール城を襲う！　ここは危険だ。奥へ避難しよう。逃げるのではなく、一時退却するまでのこと。このあとも、魔物の侵入は行われる……。

連続５度の戦いが行われる

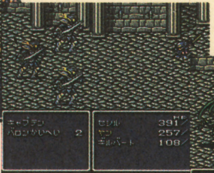




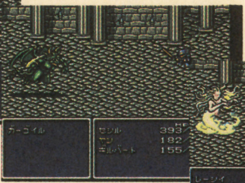
疲れを知らない魔物たちにたったの３人で挑む！



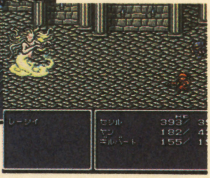
経験値やレベルのことなど、いまはまったく関係ない！



ただ、敵を攻撃することしか考えない、考えられない。



もっている力のすべてを出しきり、全力で挑むこと。それしか……頭に浮かばない。

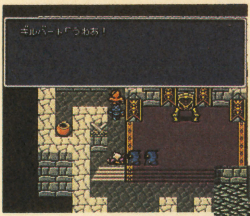


「赤い翼」襲撃前の戦闘を含め、連続５グループの魔物が襲いくる。疲れや死を知らないヤツらに対するは、セシルたち３人。回復魔法も攻撃魔法もなく、戦い抜けるか!?

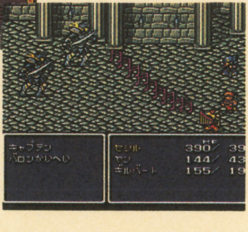
ギルバートが倒れ……

繰り返される激しい戦闘で、一番体力を消耗(しょうもう)しやすいギルバートが倒れた！　魔物は容赦(ようしゃ)なく、彼に襲いかかる。仲間として人として、彼を見捨てることはできない。セシルとヤンは、今来た道を引き返し、６度目の戦いの渦(うず)へ……。

なにものも、この運命を止められはしない……。



パーティーの中で、最も弱いギルバート。この戦いを乗り越えられるほど、彼は精神的にも肉体的にも強くなかった。

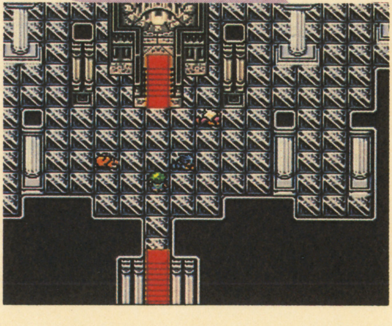


彼を助けるために、ほかの２人が戦いのなかへ戻っていく。それに応え、ギルバートも力をふりしぼって挑んでいく。彼らの勝利は、いつ訪れるのだろうか。

ローザがさらわれる!!

城の最上階まで追いつめられたセシルたちの前に、ゴルベーザなる者が現れる。そこへ駆けつけたローザらが見たものは、一撃で倒される３人の姿だった。息も絶え絶え、彼女を気遣うセシルの前で、ゴルベーザはローザをさらっていく……。

ロ、ローザッ!!



いままでの戦闘で力を使いはたした３人は、ゴルベーザの手により、倒されてしまう。その後、ローザもさらわれてしまって……。

そして新たな渦に巻き込まれる

ローザのため、世界のために、再び立ち上がった４人の戦士は…

次に向かうのはバロン城!!

悪戦苦闘の末、セシルたちに残されたのは、ゴルベーザのヤツにローザがさらわれたという事実だけだった。幸い、１人無事だったリディアのおかげで、セシルたちは復活することができたが、すでにあとの祭り。

退室するときに、あえてセシルにとどめをささず、ローザを連れ去ったゴルベーザ。さしたる理由もなく、１人残されたセシルに地獄の苦しみを味わせようとする考えらしい。

「ゴルベーザ、貴様のその陰湿な企(たくら)みが、逆に命取りとなるだろう……」

バロン王国へ出向き、ローザを奪い返す決心をしたセシルは、ヤンたちに相談する。

いまでは、バロン王国飛空艇団「赤い翼」は、ゴルベーザに牛耳られているらしい。飛空艇に対抗するには、飛空艇しかいないのだが……。

さまざまな意見が取りかわされるが、結論は１つ。バロン王国に侵入するしかないということだ。そして、その方法とはどんなものが？

船を調達しなければ

宿に戻ったセシルたちは、テーブルを挟んでお互いの意見をぶつけ合った。結果、一番の良策と思われるのが、ファブール王から船を借り、バロン王国へと潜入することだった。

ぐっすり眠って体力を取り戻し、改めて決意をしたセシルは、ファブール王に昨晩の策を打ち明けた。

「頼む、セシル。憎きゴルベーザを倒してきてくれ。船は港に用意させておこう」。

ありがたい言葉とともに、セシルは最強の暗黒剣・シャドーブレイドを譲り受けた。このような、人々の信じ合う心さえあれば、きっとゴルベーザを倒せるはずだ。

さすがは、元飛空挺団の隊長。軍の内部事情となると詳しい。セシルのいうとおり、バロン軍事海兵隊の層が薄いのは周知の事実である。

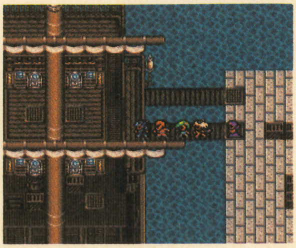
事情を聞いたファブール王は、ファブール隆盛のきっかけとなった、最強の暗黒剣をセシルに託す。この期待に応えることはできるのだろうか？

いざ、出港!!

旅支度(したく)を整え、いざ船に乗り込もうとしているセシルたちをヤンの奥さんが見送ってくれた。

「あんたが留守のあいだは、私に任せておきな」

何ともキップのいい奥さんだ。



楽しいはずの船旅が

こうしてファブール王国を旅立ったセシルたちだが、思いがけないアクシデントにより、セシルが1人になってしまう。
そして、冒険は佳境（かきょう）を迎えるが……!?

ここで初めて、飛空挺団補修部隊長のシドの名がクローズアップされてくる。無事だといいが、ゴルベーザのいるいまとなっては、急がないと危ないかもしれない……。

見ず知らずの海岸にうちあげられたセシル。これも運命なのか!? 神の手に導かれ、人生の転機へ向かうセシル。

１人むなしく、仲間たちの名を叫ぶセシル。そして、物語は意外な展開を見せる。この先は次号の発売を待て。

3人はいずこへ……!?

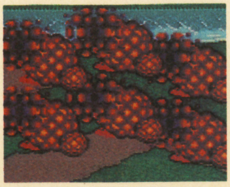
リディア!?
ギルバート!?
ヤン!?

魔法リスト

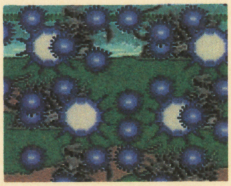
今回紹介したなかで登場する魔法リストだ

黒魔法　おもに殺傷を目的とする脅威の魔法

名称	効果	使用MP	使用者
ブリザド	大気中の水分を凍らせ、氷魂として敵キャラにぶつけ、ダメージを与える	5	リディア テラ
サンダー	稲妻を敵キャラの頭上に呼び寄せ、そのまま叩きつける。水棲系の敵キャラに有効だ	5	リディア テラ
スリプル	敵キャラの精神的内部に思念を送り込み、夢の世界へと誘う	12	リディア
ポイズン	敵キャラ周辺に漂う毒素を、その体内に直接送り込み、内部よりダメージを与える	2	リディア
デジョン	洞窟などを移動中に使用すると、1つ前のエリアに戻ることができる。脱出用魔法だ	4	リディア
トード	敵キャラをカエルにしてしまう。万が一、味方がカエルになった場合は、元に戻すことも可	7	リディア
ファイア	空気中の熱気を熱源へと発展させ、そのまま実際の火炎として敵キャラの体を包ませる	5	テラ
ストップ	敵キャラの周りの時間を意志の力によって止め、敵キャラ自体の動きを封じてしまう	15	リディア テラ
アスピル	味方からでも敵キャラからでも、MPを吸い取って自分のものとすることができる	0	テラ
デス	冥府界から死神を呼び出し、敵キャラの魂を抜き取らせ、死に至らしめる恐ろしい魔法	35	テラ
バイオ	敵キャラの体の中の細菌を、高速で培養させる。そのままダメージを与える結果となるのだ	20	テラ
トルネド	強力な竜巻を呼び起こし、敵キャラにぶつける。一発で倒すことはできないが、瀕死になる	25	テラ


ファイア系最強の魔法ファイガ。巨大な炎で敵キャラを焼き尽くす。

ブリザド系最強の魔法ブリザガ。特大ツララを敵キャラにぶつける。


サンダー系最強の魔法サンダガ。強力な電撃の柱で敵キャラに攻撃。

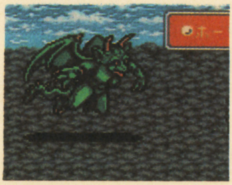
白魔法 治癒・攻撃補助・防御をつかさどる魔法

名称	効　果	使用MP	使用者
ケアル	微量だが、キャラクターのHPを回復させることができる。初めのうちはとてもお世話になる。	3	リディア ローザ
サイトロ	自分のいる位置を中心として、周辺の縮小図を見れる。フィールド上でしか使えないので注意。	2	リディア ローザ
ホールド	敵キャラの体を麻痺させ、動きを止める。黒魔法でいうところの、ストップに近い。	5	リディア ローザ
ケアルラ	ケアルのバージョンアップ型。その分、消費するMPが3倍に増えているが……	9	テラ ローザ
コンフュ	敵キャラの脳の命令伝達系の部分に刺激を与え、混乱させて同士討ちを狙う魔法	10	テラ
ブリンク	精神を集中させ、自分の分身を作り出す。敵キャラは見分けがつかなくなり、打撃率が低下	8	テラ
エスナ	戦闘不能以外の体の状態を、完全に治すことができる。かなりお世話になることだろう	20	テラ
レイズ	エスナでは治すことのできない、戦闘不能状態を回復させる。ただし、HPは少ない状態だ	8	テラ ローザ
テレポ	戦闘中なら敵キャラから、洞窟内なら外部へと、それぞれ瞬時にして逃避することが可能	10	テラ
ライブラ	使用するキャラクターの透視能力により、敵キャラのHPの状態と弱点の有無を調べる魔法。	1	ローザ
スロウ	敵キャラの神経を鈍らせ、動きを遅くする。こちらの攻撃回数が増えるということだ	14	ローザ
プロテス	身につけている物を物理的に硬化させ、敵キャラの直接攻撃に対する防御力を高める	9	ローザ

召喚魔法 幻界の住民を呼び出し戦わせる魔法

名称	効　果	使用MP	使用者
チョコボ	召喚魔法の中でも、基礎となるもの。幻界からチョコボを呼び出し、敵キャラ1匹を攻撃	7	リディア

ケアル系最強の魔法、ケアルガ。HPを完全に回復させる。



白魔法のなかで、唯一完全な攻撃魔法。ローザにしかあつかえない。

たかがチョコボとはいえ、そのキック力は侮れないぞ。

1991年8月9日発行（隔週金曜日発行）
第2巻14号通巻17号特別付録
スーパーファミコンは任天堂の登録商標です